

とちぎ女性チャレンジ応援事業【栃木県】

総事業費	10,256 千円
交付金額	5,068 千円

地域の実情と課題

- 男性雇用者の非正規雇用者の割合26.5%に対し、女性雇用者の非正規雇用者割合は55.9%
- 所定外労働時間全国平均110時間に対して115時間
- 女性の有業率において、正規雇用労働者の比率が20代前半をピークに低下を続ける「L字カーブ」現象
- 育児休業制度整備率86.8%に対し、男性育児休業取得率12.8%

目的・目標

オール栃木体制で、活躍する(したい)女性を支援する。

- ・とちぎ女性活躍応援団登録企業等数 1,317 (目標1,228)
- ・男女生き生き企業認定企業数 280(目標204)
- ・男性の育児休業取得率 28.7% (目標12.0%)
- ・女性の就業率 35.1%(目標33.1%)
- ・市町村推進計画(女活法)策定状況 96.0%(目標92.0%)
- ・市町村の男女共同参画計画策定状況 96.0%(目標100.0%)

事業の特徴

- 女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」で、企業や活躍する(したい)女性等に、取り組むきっかけとなる情報を一元的に提供
- 男性の意識改革、キャリアアップ、就職相談等、様々な視点から女性活躍を進める事業メニュー

連携団体

【連携体制】
とちぎ女性活躍応援団

【構成団体】
登録企業(R4末:1,317団体)
運営団体(栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、大学コンソーシアムとちぎ、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団)

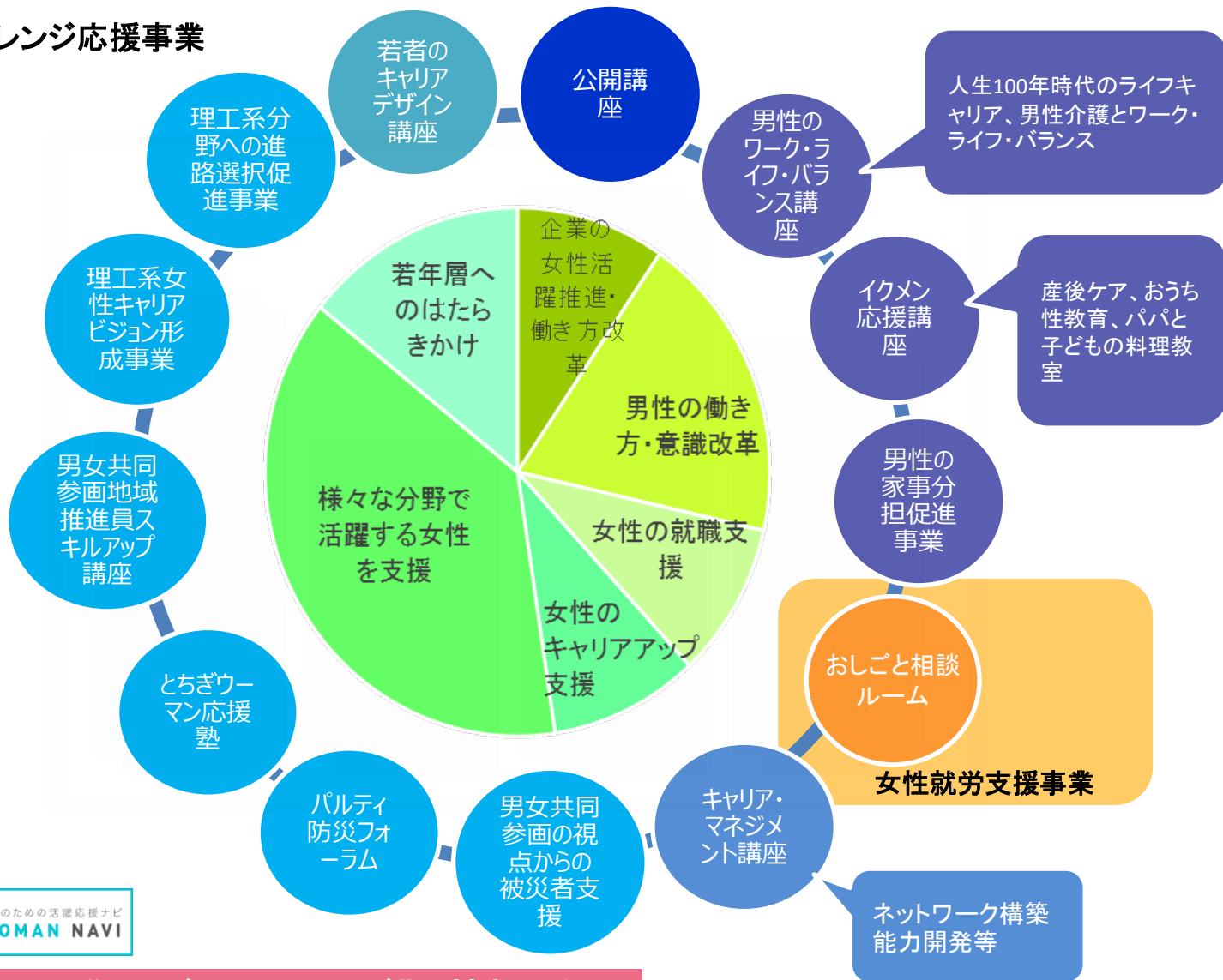
事業の効果

- 女性のキャリアアップや管理職向け、子育てを担う男性、若年層などあらゆる多角的な視点をもって様々な立場の県民に働きかけを行うことで、女性活躍の推進を図ることができた。
- とちぎ女性活躍応援団登録企業等数や男女生き生き企業認定企業数について、目標値を上回ることができた。
- 男性の育児休業取得率及び女性の就業率について、目標値を上回ることができた。

今後の課題

- 女性の就業率や男性の育休取得率の向上を図るために、より効果的な内容に見直す必要がある。
- 働く女性の活躍支援に関する取組を行っている市町村が一部にとどまっているため、当交付金の活用や市町村の先進的な事業のPR等により、市町村における女性活躍推進につなげていく必要がある。

とちぎ女性チャレンジ応援事業



とちぎのすべての女性のための活躍応援ナビ
TOCHIGI WOMAN NAVI

専用サイト“とちぎウーマンナビ”で情報発信